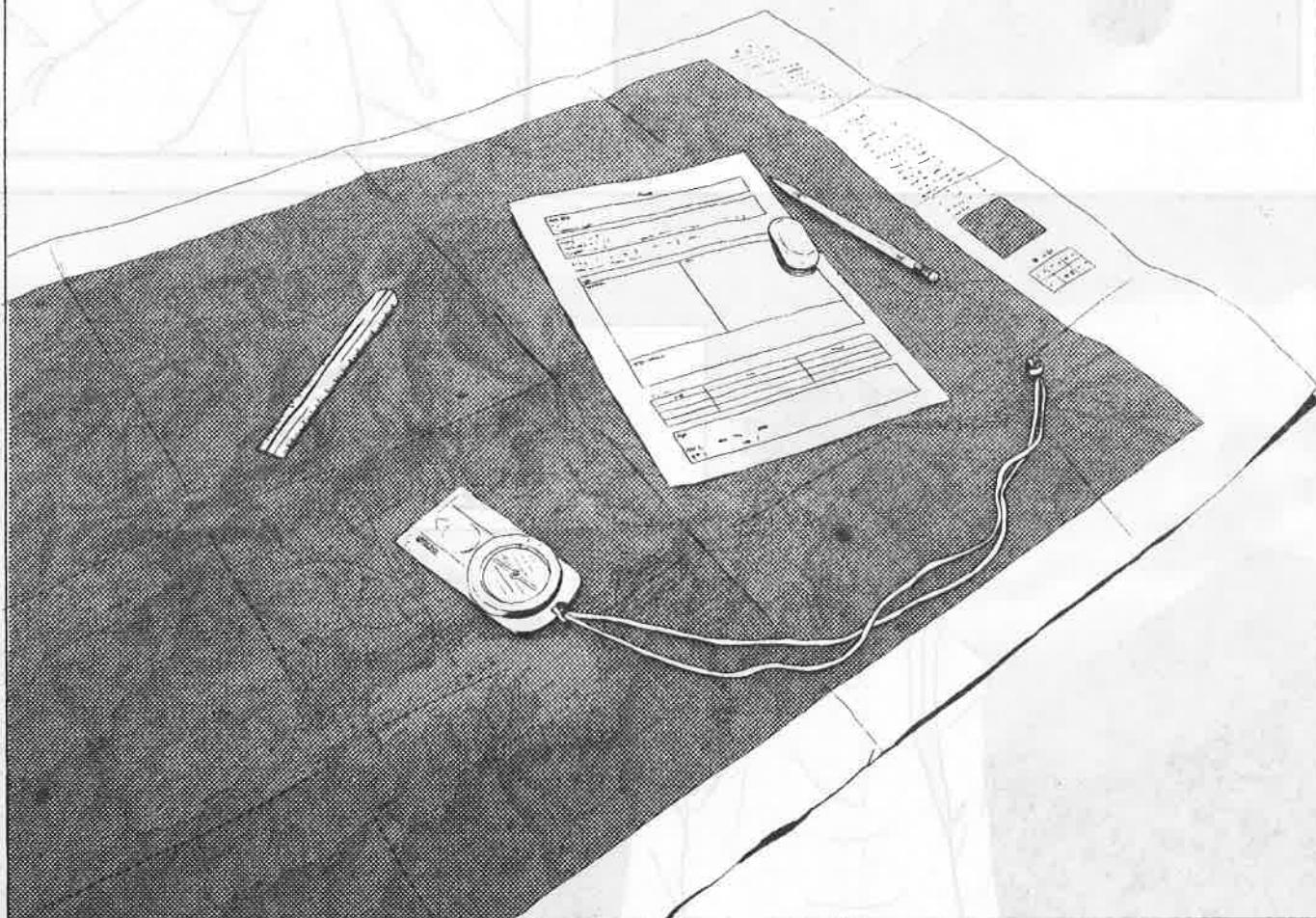


# 楓通信 . 87

## 特別ふろく



日光湯元ビジターセンター  
奥日光の情報誌 No.87  
特別ふろく

2010. 5. 31

年間購読のお申込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、  
郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。  
(年途中からでもどうぞ!) 振替 No. 00370-3-7232

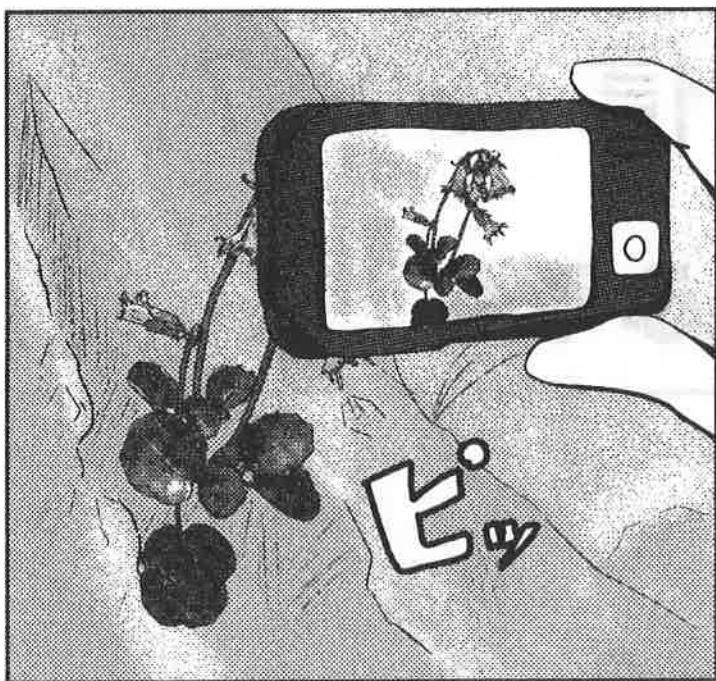
NIKKO NATIONAL PARK

(財)自然公園財団 日光支部

〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

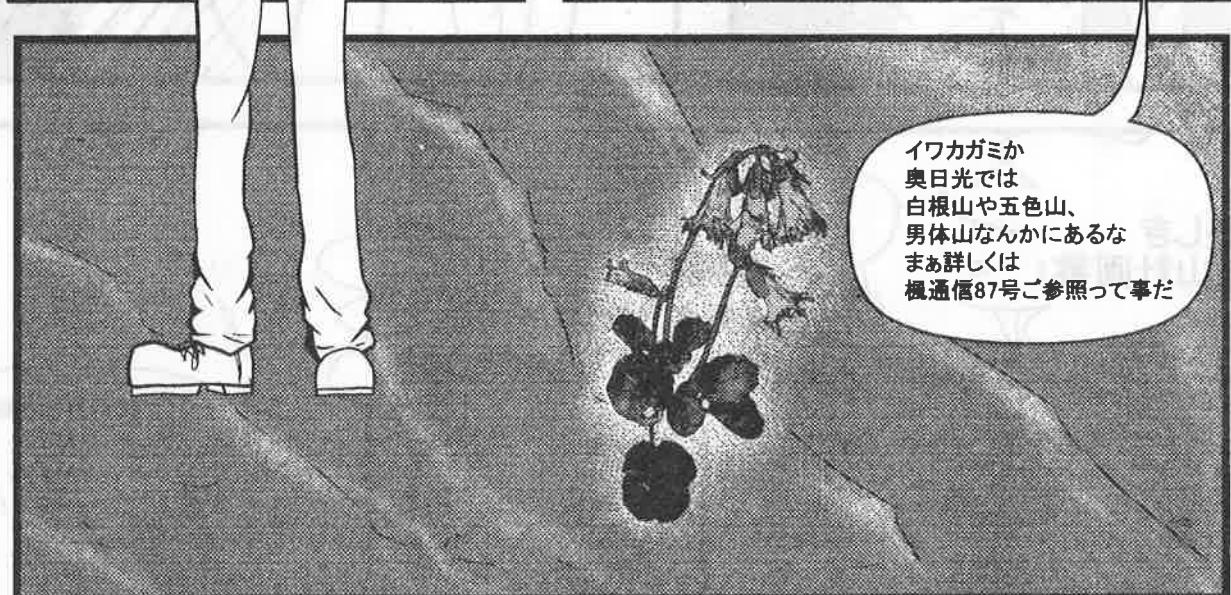
<http://www.bes.or.jp/nikko/vcl/>



# 山に登る

## 登山計画書

作 フクベー



確かに天気も良いし  
最高ですね!

なんたって晴れ男の  
俺が計画したんだからな!!

実はちゃんとした  
登山初めてだから  
かなり不安だったんだけど…

見よ!!  
この美しき  
「登山計画書」

無駄のないルート!  
緻密なスケジュール!!  
分かりやすいレイアウト!!!  
etc…!!!!

毎回この登山計画書  
書くんですか?

山登るなら  
知ってなきゃダメだろ!!



「登山届」や「入山届」とも言うが  
知らないのか??



登山届なら知っていますよ!  
今持っています!



今持っててもしょうがないだろ!  
ちゃんと出す所に出さなきゃ!!



登山口や駅などにある「登山ポスト」、  
地元交番、管轄の警察地域課などだ



そしてもう一つ大事な  
所がある!!!!

大事な所??

家族だよ

例え警察や登山ポストに  
登山届を出していても、  
家族が登山をしている事  
自体を知らないれば  
遭難捜索されない事も  
ありうる  
家族以外にも職場や  
友人などにも登山届を  
だしておくといいだろう

もし遭難してしまった場合  
捜索願いを出すのは  
家族だからな  
家族にしっかり登山計画を  
知っておいてもらう  
必要があるし  
家族もしっかり  
知っておく必要がある

下山予備日を含めて、いつまでに  
連絡がなかつたら捜索の対策をとってもらう、など  
家族や友人と相談しておくと、  
実際に遭難した場合早く対応できるな

家族や友人に出すのが  
大事なのは分かりましたけど…

家族か～  
知らなかつた

それって登山ポストや  
警察に登山届を出す意味が  
ないって事ですか!?

そ～じゃないよ  
山によって管理の仕方が違うんだ  
ある山では、「積雪期に登山する場合  
登山する20日前までに、登山届を  
提出し届出済書の交付を受けないと  
登る事ができない」など  
条例で決められている所もある

そういう所は下山届も  
義務づけられていたりする

それも山によって  
違うんですか？

下山届は、  
登山ポストに出したり、  
警察に電話したり、  
最寄りの交番だったり、  
それも色々だな

めんどくさ～

キュー



あれ？

箸忘れちゃった

ど、どういう事ですか



ホントに知らないんだな

何もいえない…

登山届=登山計画書ってのは  
実は決まった形式はないんだよ  
でも書く内容は決まってる

レクチャ  
してやるか

内容がきちっとしていれば  
形式は自由  
県や山によっては、警察が  
擬型をホームページで  
公開している所もある

### 登山届

氏名・年齢  
住所  
連絡先(自宅・携帯)

保険(あり・なし)  
救援体制(あり・なし)  
交通工具(鉄道、バス、タクシー、自家用車(車種  
ナンバー ) その他 )

期間( 年 月 日 ~ 年 月 日 沿・日帰り)  
宿泊(テント、山小屋、その他)

ルート、行程、  
エスケープルート

メンバーの氏名、  
住所、連絡先

氏名、年齢、住所、  
連絡先(自宅、携帯電話)、  
緊急連絡先

登山日程(日帰り、何泊)、  
目的地、目的・形態(個人登山、  
縦走、沢登、岩登など)、  
山岳保険の有無、救援体制の有無

装備、食糧(何日分)、  
トランシーバー周波数、  
コールサイン

などなどあるが、なるべく詳細を書いた方が良い  
万が一の時の資料になるし、  
書くことで登山をシミュレーションする事が出来る  
装備のチェックで忘れ物もしないで済む  
って聞いてんのか!?

※最終ページ参照

それだけ細かく書いたら  
当日変更はまずいんですよね?

モ  
モ  
モ  
モ



なんとAさんは〇〇山とは  
全く別の山で遭難していたのです

Aさんは当日、その時の気分で  
「やっぱり××山にしよう」と  
誰にも告げずに  
計画を変更していたのです

しかし、Aさんは無事  
救出されたのです！

Aさんは登山の途中で  
すれ違った人に挨拶をしていました  
そのすれ違った人がAさんを  
覚えていたのです

この情報がきっかけでAさんは  
無事、家族の元に戻ることができました

た、助かったんですね

でも!!

今回はたまたま、  
無事に戻れたんだぞ！

これで無計画な行動が  
周囲の人对にどんなに  
迷惑をかけるか…  
わかったな！



## 登山届

氏名・年齢

住所

連絡先(自宅・携帯)

保険(あり・なし)

救援体制(あり・なし)

交通機関(鉄道、バス、タクシー、自家用車(車種 ナンバー

)その他 )

期間( 年 月 日 ~ 年 月 日 泊・日帰り)

宿泊(テント、山小屋、その他)

山名

行程・形態

地図

エスケープルート

メンバー

氏名	住所	連絡先

装備

食糧( 食分+予備 食分)

無線( MHz )